

第18回 AI 美芸研

「人工知能・美学・音楽」

4/19²⁰¹⁸
(木)

19:00-22:00

第18回 AI 美芸研「人工知能・美学・音楽」

【日時】2018年4月19日(木) 19:00-22:00 (開場 18:30)

【会場】ゲーテ・インスティトゥート 東京ドイツ文化センター ホール

東京都港区赤坂 7-5-56 【参加費】2,000円

人工知能は芸術創造の分野にまで侵蝕するのか。人工知能に美意識が芽生え、自律的に芸術を創作する未来はあり得るのか？

この問いは、ゲーテ・インスティトゥートの協力を得て2017年11月3日から2018年1月8日にかけて沖縄科学技術大学院大学(OIST)において開催された「人工知能美学芸術展」の中核をなしていた。同展のジャンルを超えた構成は人工知能が将来、自律的な創造性を持ちうるのかという問題を今日の視点から照らし出し、日本国内外のアーティスト及び研究者が、人工知能芸術の分野における最新の見識を示した。今回の研究会では、同展の一環として2017年11月に実施された四つの「人工知能美学芸術コンサート」に照準する。大型スクリーンで映像記録を視聴・鑑賞し、作曲における人間と機械の相互の影響を様々な角度から照らし出す。

全体討論では、作曲家の三輪真弘、古川聖、平石博一、田中翼、当会の中ザワヒデキが出演。※ホワイエでは8m長の「人工知能美学芸術史年表」を展示予定。

三輪真弘、古川聖、平石博一、田中翼、中ザワヒデキ